

図書館サポーター推薦!

科学と医療のコラボ

The Collaboration of
Science and Healthcare



Monday, Dec. 2, 2024-
Friday, Jan. 24, 2025

● 統合記念企画展示：科学と医療のコラボ

「大岡山図書館・すずかけ台図書館にもある医学の本」をテーマに、理工学系の図書館に所蔵されている、医学に関連する書籍を展示します。

図書館サポーター達の多様な視点を活かして選ばれた本を通じて、これまで医学と工学がどのように交わってきたかを感じていただき、統合後の新たな学びの形にも、期待を寄せていただければ幸いです。

● リストの見方

図書タイトル・著者

配架・請求記号

推薦文

蔵書検索
QRコード

- 展示図書は、借り出すことができます。気になった本を手にとってご覧ください。
貸出中の図書を予約したり、大岡山・すすかけ台の図書の取り寄せもできます。

● ブックレビュー

展示図書は、大岡山・すすかけ台図書館蔵書検索で、展示図書のページを開くと、
図書館サポーターの推薦文を見ることができます。

リストに掲載した URL・QR コードから、ぜひご覧ください。

● ブクログ

大岡山・すすかけ台図書館でこれまで実施してきた展示で取り上げた図書を、
ブクログでご紹介しています。

こちらをあわせてご覧ください。

<https://booklog.jp/users/lidance>

がん免疫治療とは何か / 本庶佑 [著]

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 081/Id/1768

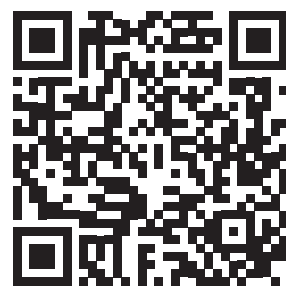
2018 年ノーベル賞（生理学・医学）受賞者・本庶佑氏による本。「偶然」の発見による革新的ながん免疫治療法は、世界中のがん治療を大きく変え界限で注目されている。前半は、その新しい「発見」から辿り着く証明と新たな抗がん剤の開発までの道のりについて熱心に書かれている。後半は「いのち」とは何かについて生物医科学的に説明・解説し、また、生命医科学研究の現状や日本の医療の未来についても詳しく議論している。専門性が少し高い本だが、免疫系のしくみや科学的思考を深く学べる素晴らしい一冊。



大学生のための福祉教育入門：介護体験ハンドブック
/ 齋藤友介，坂野純子，矢嶋裕樹編

大岡山図書館 B1F- 一般図書 373.7/Sa

教員を目指す方向けのハンドブックですが、様々な障がいを持つ方や福祉ニーズをもつ高齢者や児童について分かりやすく解説しています。特に、福祉のニーズを有する人々の症状について、初学者にも優しく、たくさんの図を用いて解説しています。特別支援学校の様子や、その他の社会福祉施設を利用する方のスケジュールなど、知っているようで知らなかった知識を得ることができる本だなと感じました。



これでわかる病院の検査：血液検査から MRI まで
/ 奈良信雄著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 408/B/961

現代を生きる私たちの生活には検査がつきものです。年に1回は受ける健康診断、ケガをしたときのレントゲン撮影、入院する前の血液検査 etc.、様々な種類があります。いったいこんなに多くの種類の検査、何のために受けているのだろうか？全部同じように思えるけどいったい何が違うのだろうか？と思ったことはありませんか？この本を読むと検査の重要性から血液検査、画像検査などの各検査の詳細まで知ることができます。



人口と感染症の数理はいかに創られてきたか
： 個体群ダイナミクスの数学史
/ ニコラ・バカエル著；稲葉寿〔ほか〕訳

大岡山図書館 B1F- 一般図書 461.9/B

パンデミックの発生によって注目を浴びた感染症数理モデル。本著では医学、生物学、社会学と多様な分野で用いられるこの数理モデルの基礎と発展が、モデルの構築に貢献した科学者の足跡と共に描かれています。数理モデルの科学史としても、他分野へ知見を広げる入門書としても手にとりやすい一冊です。統合の機会にぜひ、理工学系の知識を医学の世界にも広げてみませんか。



鼻の中の羅針盤：人体びっくり面白小百科
/ マーク・マッカチョン著；片山陽子訳

大岡山図書館 B1F- 一般図書 491.04/M

私たちの鼻にはわずかな鉄があり、羅針盤のように北極の方角を探知することができるって知っていましたか？本著はこのように、興味深くかつ驚くべき「人間」に関する話題を満載に持つ医学情報本です。医学・工学の垣根を越えた見識を有する著者によって、複雑な身体の仕組みが分かりやすく説明されるだけでなく、分野横断的に話題が展開されていく楽しさを感じることもできます。本著を手に、「人間」の不思議を学んでみませんか。



大岡山図書館 B1F- 一般図書 492.4/E

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 492.4/E

皆さんはケガをしたときや毎年受ける健康診断でレントゲン診断を受けたことがあると思います。レントゲン診断はX線診断とも言って、X線を用いた画像診断の一種です。ところで、画像診断には他にもCT、MRI、エコーなど様々な種類がありますが、いったい何が違うのでしょうか？この本では、主に画像診断について、物理の目線からそのメカニズムや違いについて詳しく説明してあります。これを読めば日頃画像診断を受けるときの気持ちも変わることも間違いなしです！



大岡山図書館 B1F- 一般図書 492.4/E

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 492.4/E

X線や放射線、超音波といった物理現象は、工学・理学の研究に携わっていると一度は扱ったことがあるのではないのでしょうか。理工系の学生にとって身近な物理現象の中には、医療の現場でも利用されているものがあります。この本では、診察や治療に用いられるX線撮影やCT、MRI、放射線治療などについて、分かりやすくその仕組みを知ることができます。身近な物理現象が、医療にどのように応用されているのか、興味がある内容からぜひ読んでみてください。



子供と大人のメンタルヘルスがわかる本

： 精神と行動の異変を理解するためのポイント 40

/ 十一元三著

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 493.7/To

うつ病やアルコール依存症など、メンタルヘルスの問題に対する理解を深めるための一冊。様々な要因が複雑に絡み合っ起こるさまざまな問題について、原因を心、体、脳の3つに切り分け細かく解説されている。基礎的なところをしっかりと網羅されているため、メンタルヘルスの問題への正しい理解のための一歩となる。この本を読むことで、さまざまなメンタルヘルスの問題へ対応するための新たな見方と知識を得ることができる。



ビジュアルパンデミック・マップ

： 伝染病の起源・拡大・根絶の歴史

/ サンドラ・ヘンペル著； 関谷冬華訳

大岡山図書館 B1F- 一般図書 493.8/H

ペスト、結核、インフルエンザ、エイズ…… 人類の歴史の中で様々な伝染病が流行し、被害をもたらし続けてきました。この本はそれら 20 の感染症について、感染のきっかけ、拡大から人類の戦い方、収束までをストーリー仕立てでやさしく紹介しています。感染症の広まりを示す地図を見ると、コロナ禍でもそうだったように、伝染病の拡大には人的物的交流が大きな影響を与えることがよくわかります。

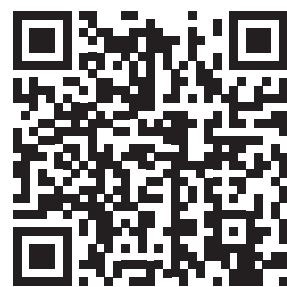


HIV の発見から 40 年

： 医学はどう戦ったか、これからどう戦うのか / 満屋裕明編集

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 493.878/M

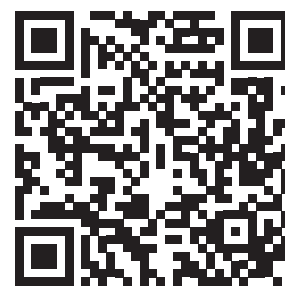
2016 年、世界保健機関（WHO）の推計によると、世界で HIV とともに生きる人は約 3,670 万人で、東アジア、東欧、中央アジアで最も流行が急速に拡大している。HIV が発見されて以来 40 年、複数の治療法が開発されたが、薬剤耐性 HIV、COVID-19 は対策資金の縮小につながり、新たな課題にもなっている。本書では、2024 年までの HIV 治療・予防に関する最新の研究進歩と、諸外国や NPO などの組織における対応の現状をまとめた。HIV 治療の現状を迅速に把握したい読者にも役立つ。



Advances in Cancer Immunotherapy: From Serendipity to Cure / HONJO Tasuku

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：洋書 494.5/H

Written by HONJO Tasuku, one of the Nobel laureates in Physiology or Medicine 2018, about his revolutionary cancer immunotherapy from a “coincident” discovery that brought about a ground-breaking change in cancer treatment among the community around the world. The first half of the book passionately explains the proof that was derived from this discovery and its path to the development of a new anticancer drug. While in the second half is where the question “What is Life?”, biomedical science research in Society and the future of healthcare in Japan are discussed in detail, from a biomedical science perspective. To sum up, despite its high specialty which may be hard to understand, it is a wonderful book that allows you to learn more about the workings of the immune system and what scientific thinking is.



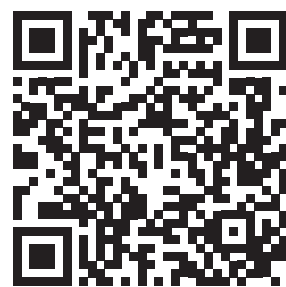
2040 年に高齢化のピークを迎える日本社会は、超高齢化社会の問題に十分対応できるのか。本書では、2040 年の超高齢化時代に向けたソリューションを、ICT、AI、ロボットなどのデジタルヘルスケアを中心に考察する。パーソナルデジタルヘルスケア、デジタルヘルスケア社会のレイアウト、欧米の先進技術、これからの新しいデジタル社会の可能性など、本書では、デジタルヘルスケア社会への先端技術の応用をやさしく紹介している。また、具体的な技術的手法を考えるだけでなく、新たな高齢化時代全体を見据えた著者の人間的な配慮と思考が見られる。いつの日か、デジタル高齢化社会が実現した時、介護者、高齢者、社会、組織、行政の連携が、技術的実践と精神的ケアを新たな高みへと発展させることを期待している。



マンホールの博物誌：水と道路と人々との交差点
/ G&U 技術研究センター編著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 518.23/M

土木の水道の授業で出てくる、スノウのコレラ感染地図というものがあります。スノウはこの地図によって、コレラの原因は汚染された井戸水であると突き止めました。このように、都市での感染症の蔓延を防ぐには上下水道をはじめとするインフラの整備が欠かせません。マンホールは地下に隠れた必要不可欠なライフラインの入り口です。この本はマンホール鉄蓋自体の技術だけではなく、マンホールの中にある下水道システムや下水道の歴史についても詳しく紹介しています。見えないところで私たちの健康を支えている都市インフラの技術を感じてみませんか。



車いすの一級建築士が教えるほんとうのバリアフリー建築 / 阿部一雄著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 527.1/A

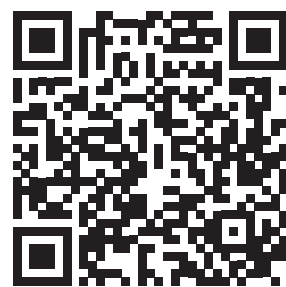
障がい者の方、高齢者の方など車いすを使う方、そして家族などケアする立場の方、両者にとって快適な住まいとは何か、を建築的な視点から読み解いている本です。建築計画という分野では、バリアフリーを空間的にどう実現させるか、を考えることができます。医療に関わる方々の生活空間を考えるのも建築の役目なのだと再確認し、医学と理工学のつながりを実感しました。



スポーツと運動のバイオメカニクス / ピーター M. マクギニス著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 780.11/M

あらゆる競技スポーツにおいて、より良い記録を出すために様々な技術や道具が今まで生み出されてきました。バイオメカニクスという学問は、それらの工夫がなぜ有効なのかを理論的に説明することを可能にしています。世界的なベストセラーであるこの本では、その理解の前提となる力学や物理学の基礎について、専門的な知識が無い人でも理解しやすいように豊富なイラストと共に記述されています。バイオメカニクス分野に関わる人だけでなく、スポーツ好きな人全員におススメします。



スポーツ傷害ハンドブック：選手の競技復帰に役立つ / 神崎浩二監修

大岡山図書館 B1F- 一般図書 780.19/Su

スポーツにケガは付き物です。ケガをしたときに大切なのは、状況を把握して、冷静に対処すること。事前にある程度ケガの知識を持っていれば、いざというときにも落ち着いて行動できるでしょう。このハンドブックには、部位ごとの起こりやすいスポーツ傷害に加え、その原因、対処法までまとめられています。わかりやすいイラスト付きの解剖ページもあり、医学に詳しい人でなくても理解しやすくなっています。部活などでスポーツに関わる人にぜひ読んでみてもらいたい本です。

